

## 平成27年度ステーション実態調査（結果）

### 1 平成25年度調査の対応状況

(1) ごみが散乱するステーションは810か所  
(全ステーション33,302か所の2%)

(2) 対応状況

810か所すべてに対し、散乱原因に応じた対策を地域と一緒に実施

(単位：か所)

状 況	ステーション数
改善した	689
改善したが経過を監視中	109
一旦改善したが散乱が見られる	12
計	810

### (3) 具体的な改善事例

#### ■ 小倉南区の併用ステーション

(ワンルームマンション居住者が曜日に関係なくごみを出す事例)

##### 【対策前】



##### <状 況>

- ワンルームマンションに住む学生が曜日に関係なくごみを出す
- 家庭ごみとして出すことができない事業所がごみを持ち込む
- 檻状の集積容器と防鳥ネットにごみが入りきらない

##### 【対策実施】



##### <経 過>

- 啓発看板の設置
- 大学と連携した学生指導
- ワンルームマンション、周辺の事業所への啓発チラシの配布
- 開封調査の実施
- 開封調査に基づくマンション住民、事業所への直接指導

##### 【現 状】



■ 若松区の家庭ごみ専用ステーション

(アパートの住民が適切に防鳥ネットを使用していない事例)

【対策前】



<状 況>

- アパートが専用で使っているステーション
- 違反ごみ（レジ袋）があるほか、防鳥ネットをきちんとかけていない。
- ごみ量に対し、防鳥ネットが小さい

【対策実施】



<経 過>

- 啓発看板の設置
- 管理会社と協力したチラシの配布
- 開封調査の実施
- 管理会社と協力した早朝ごみ出し指導
- 管理会社による工夫した防鳥ネットの設置

【現 状】



## 2 平成 27 年度調査の概要

### (1) 調査期間

平成27年4月～7月（カラスによるごみの散乱が見られる時期）

### (2) 調査内容

- ・ ステーションの散乱状況
- ・ 防鳥ネット等の散乱対策の状況

### (3) 調査方法

- ・ 作業員が収集中に把握

## 3 調査結果

### (1) ステーション数

(単位：か所)

種 類	平成 25 年度	平成 27 年度	増 減
家庭ごみ専用	20,653	20,333	▲320
資源化物専用	1,293	1,238	▲ 55
併用（家庭ごみ＋資源化物）	11,356	12,009	+653
計	33,302	33,580	+278

### (2) 防鳥ネット等の状況

86%（29,028 か所）が防鳥ネット等の対策を実施済み

(単位：か所)

種 類	平成 25 年度	平成 27 年度
対策あり	27,716 (83%)	29,028 (86%)
防鳥ネット	23,380 (70%)	23,931 (71%)
専用工作物（檻等）	2,593 ( 8%)	2,618 ( 8%)
簡易集積容器	1,743 ( 5%)	2,479 ( 7%)
対策なし	5,586 (17%)	4,552 (14%)
計	33,302	33,580

### (3) ステーションの散乱状況

#### ① ごみが散乱するステーションは 437 か所 (1%)

(単位：か所)

散乱状況	平成 25 年度	散乱状況	平成 27 年度
散乱する	810 ( 2%)	散乱する	437 ( 1%)
散乱なし	32,492 (98%)	散乱なし	33,143 (99%)
計	33,302	計	33,580

#### ② 前回調査の 810 か所のうち、引き続き散乱が見られるステーションは 12 か所

#### ③ 散乱の原因

- ・ ワンルームマンションなどの単身者が収集日や時間を守っていない
- ・ 防鳥ネットのサイズが小さい、防鳥ネットでごみ袋をしっかりと覆っていない
- ・ 防鳥ネットなどの対策を講じていない
- ・ 事業系ごみが排出されている

#### ④ 散乱する地域の特性

- ・ 前回調査では、主に学生街などルール、マナーが守られていない地域でカラス被害が多かった
- ・ 今回の調査では、学生街での散乱箇所は減少し、その周辺部に散乱が見られる

### 4 今後の対応

- ・ 新たに散乱が見られたステーションをステーション管理台帳に追加
- ・ 1 か所 1 か所地域に入り、それぞれのステーションの散乱原因に応じた対策を地域と一緒に実施